

# CASBEE<sup>®</sup>新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

## 1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	(仮称)北区白新町2丁目ホテル・学生マンション 新築工事 新潟県新潟市北区白新町2丁目3505B.3506.3507 新潟市北区義経字上大口210-6B.225-0B 商業地域 ホテル,集合住宅, 2019年7月 予定 981.18 m <sup>2</sup> 504.16 m <sup>2</sup> 2,475.40 m <sup>2</sup> 地上5F RC造 実施設計段階評価 2019年6月26日	
---	---	--

## 2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{38.5}{64.9} = 0.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

## 3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	2.8		バリアフリー計画	3.0
			維持管理	2.5
			設備の更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	2.3		耐震・免震・制震・制振	3.0
			信頼性	1.6
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.1		建物外皮の熱負荷抑制	3.1
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	2.3		節水	3.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	1.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全と創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	2.5		まちなみ・景観への配慮	2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

## 4. 新潟市の重点項目の配慮事項

外皮性能がBPI=0.61と優れており、防犯カメラの設置やホテルの食堂・学生食堂を設置し、防犯性への配慮や施設機能の提供による地域貢献をしている建物です。

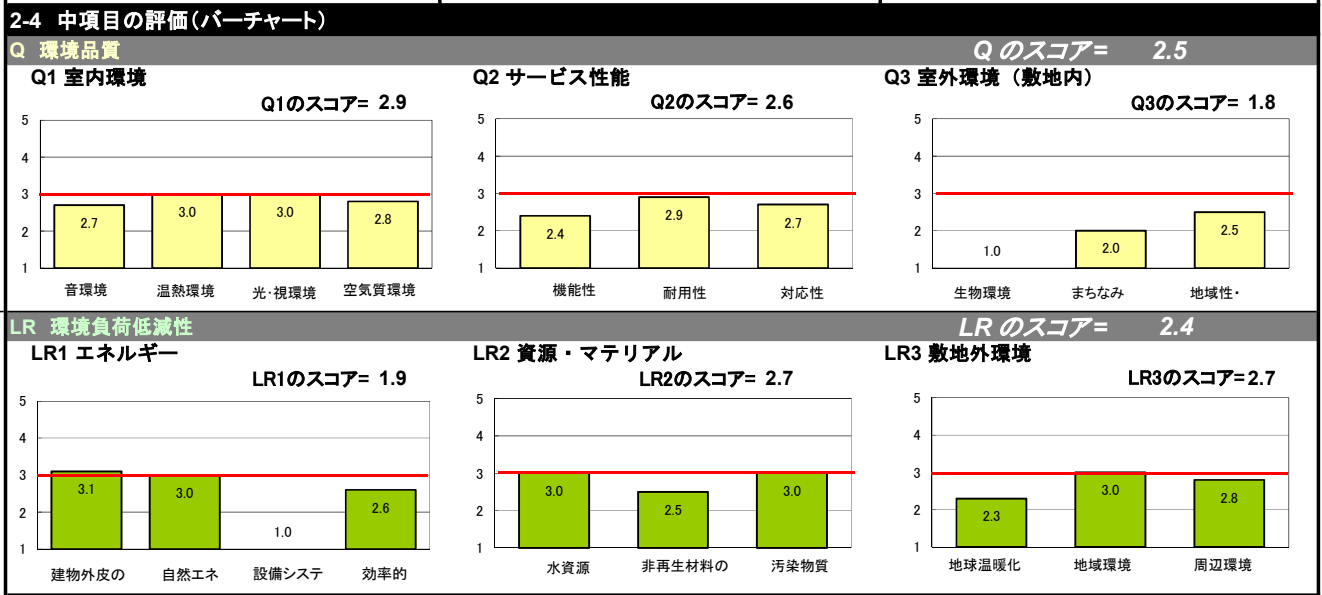
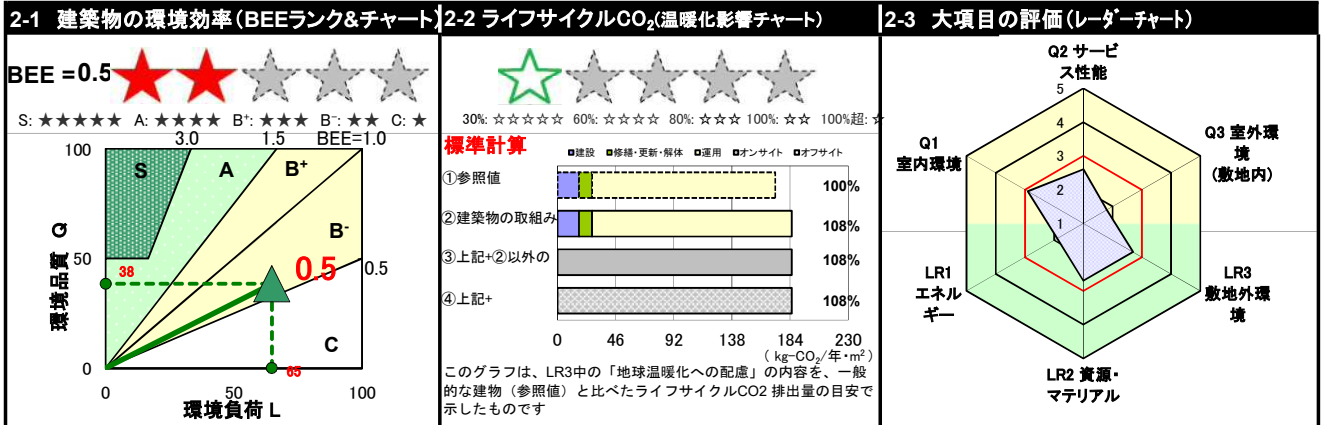
# CASBEE<sup>®</sup>新潟

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.2

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)北区白新町2丁目ホテル・学生マンション 新築工事	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市北区白新町2丁目3505B-3506-3507 新潟市北区東橋平上大口218-88-225-18	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	77人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年7月 予定	評価の実施日	2019年6月26日
敷地面積	981㎡	作成者	株式会社中央グループ 石口和
建築面積	504㎡	確認日	2019年6月26日
延床面積	2,475㎡	確認者	株式会社中央グループ 石口和

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>外皮性能に優れており、昼光率をよく防犯カメラを設置し防犯性を配慮している建物です。</p>		<p>その他</p> <p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>昼光率のよい建物</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>仕上材や給排水管の更新必要間隔が長く、空間の形状・自由さの優れている建物</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>防犯カメラの設置をし施設機能の提供による地域貢献として食堂を設置しています。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>外皮性能(BPI=0.61)の優れた建物</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>発泡剤は、ODP=0.01未満の断熱材を使用しています。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>交通負荷抑制として駐輪場や駐車場の確保をしています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される